

研究活動報告 (アルファベット順)

2008年(1月1日から12月31日)における専任教員の研究活動歴である。ここに掲載されているものは、大阪女学院大学・短期大学研究活動委員会の依頼に応じて、各専任教員が自己申請したものに限定されていることを付記する。研究活動歴は以下のように分類される。

氏名、(専門領域)、Ⅰ.著訳書、Ⅱ.学術論文、Ⅲ.その他の著作(研究ノート、ニュースレター、報告書、雑誌、新聞等)、Ⅳ.学会発表、Ⅴ.その他の発表(シンポジウム、講演、放送等)、Ⅵ.学会および公的な機関の委員、Ⅶ.科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

智原 哲郎(ちはら・てつろう)〔言語能力評価法〕

Ⅲ. その他の著作(研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1)「学習サポート：チュータリングの実践状況の考察」、『大阪女学院大学紀要』第4号、2008年3月1日、共著

Ⅵ. 学会および公的な機関の委員

- (1) 文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)」審査委員(ペーパーレフリー)
- (2) 文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」実施状況調査 調査員 2008年11月1日
- (3) 初年次教育学会 理事
- (4) 和歌山県立那賀高校 SELHi運営指導委員会 運営指導委員 2008年3月まで

崔 大龍(チェ・デリョン)〔戦略経営、経営組織、マーケティング、ベンチャービジネス〕

Ⅳ. 学会発表

- (1)「バランススコアカードとリーダーシップ」, 戦略経営協会, 於: 学士会館, 2008年11月30日

Ⅵ. 学会および公的な機関の委員

- (1) 戦略経営協会 副会長 2008年4月1日~2009年3月31日

Cline, William (クライン・ウィリアム)〔Education TESOL〕

Ⅲ. その他の著作(研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) “The Right Date for the Wrong Part of the Shroud of Turin.” *OJC Kiyō*, 2008年3月1日, 単著

黒澤 満(くろさわ・みつる)〔国際法、国際関係論〕

Ⅱ. 学術論文

- (1) “New Vision towards a World Free of Nuclear Weapons.” *Osaka University Law Review*, No.55, pp.1-14, 2008年2月, 単著
- (2) 「軍縮における国際機構の役割」, 日本平和学会編『国際機構と平和』 平和研究第33号, pp.23-41, 2008年11月, 単著
- (3) 「核兵器の廃絶と通常兵器の軍縮」, 深瀬忠一・上田勝美・稲正樹・水島朝穂編『平和憲法の確保と新生』, 北海道大学出版会, pp.236-254, 2008年11月, 単著
- (4) 「核兵器のない世界のビジョン」, 『阪大法学』第58巻第3・4号, 大阪大学法学会, pp.127-151, 2008年11月, 単著

Ⅲ. その他の著作(研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) 「核軍縮・核不拡散の維持・強化」, 『世界と議会』第521号, 尾崎行雄記念財団, pp.17-21, 2008年2月, 単著
- (2) 「軍縮・平和」, 『imidas e Library (2008年版)』, 集英社, 2008年3月, 単著

- (3) 「NPT運用検討プロセスへの日本の貢献」, 『外交青書2008』, 外務省, p.137, 2008年5月, 単著
- (4) 「核軍縮に関する国際情勢(13):核兵器のない世界に向けて」, 『平和の風』第13号, IPPNW大阪府支部, pp.8-12, 2008年6月, 単著
- (5) 「米印進む核協力」, 『朝日新聞』, 2008年8月3日, 単著
- (6) 「核廃絶への具体的措置を 米印協定反対すべき」, 『共同通信』, 2008年8月9日, 単著
- (7) "Arms Control and Disarmament Treaties", Lester Kurtz (Editor in Chief), *Encyclopedia of Violence, Peace and Conflict*, Academic Press, pp.100-112, 2008年10月, 単著
- (8) 「新公開の外交文書:増える短絡的な核議論 深み必要」, 『朝日新聞』, 2008年12月21日, 単著
- (9) 「北東アジア非核地帯構想:安全保障 発想の転換促す」, 『朝日新聞』, 2008年12月29日, 単著

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「核をめぐる国際情勢」, 長崎市平和推進専門会議, 於: 神奈川県藤沢市, 2008年1月18日
- (2) 「核軍縮の歩みと今後の展望」, 京都フォーラム, 於: 京都市, 2008年2月3日
- (3) 「軍縮と国際法」, 大阪大学大学院国際公共政策研究科, 於: 大阪府豊中市, 2008年2月7日
- (4) 「国際の平和と安全保障」, 北泰行定年退任記念講演会, 於: 大阪市, 2008年3月15日
- (5) 「核兵器のない世界に向けて」, 核戦争防止医師会議大阪府支部懇談会, 於: 大阪市, 2008年3月29日
- (6) "Japan's Nuclear and Security Policy.", University of Tampa, 於: 京都市, 2008年5月18日
- (7) "Status of the Preparatory Committee for the 2010 NPT Review Conference.", 7th Meeting on CSCAP Study Group on Countering the Proliferation of Weapons of Mass Destruction, 於: Ho Chi Minh City, Vietnam, 2008年5月26~27日
- (8) "The NPT and Beyond: Towards a Successful 2010 Review Conference.", Keio University and University of Toronto, 於: 東京都, 2008年7月2日
- (9) "NPT Review Process and Nuclear Disarmament.", 大阪女学院大学平和・人権研究会, 於: 大阪市, 2008年7月22日
- (10) 「被爆記念日によせて」, NHKラジオ 第一放送「NHKジャーナル」, 於: 東京都, 2008年8月6日
- (11) "2010 Nuclear Non-Proliferation Treaty Review Conference: Crafting a Consensus.", The 20th United Nations Conference on Disarmament Issues, 於: さいたま市, 2008年8月27~29日
- (12) 「米印原子力協力協定」, NHKテレビ BS-1「今日の世界」, 於: 東京都, 2008年9月17日
- (13) 「核軍備管理・軍縮」, 日本国際問題研究所軍縮・不拡散促進センター「平成20年度軍縮・不拡散講座」, 於: 東京都, 2008年9月26日
- (14) "U.S.-India Nuclear Deal Finalized.", NHKテレビ NHK World "ASIA 7DAYS", 於: 東京都, 2008年10月6日
- (15) 「現在の国際安全保障環境と核軍縮」, 日本国際問題研究所軍縮・不拡散促進センター「核軍縮をめぐる新たな動向研究会」, 於: 東京都, 2008年11月17日
- (16) 「2010年NPTへ、世界の核廃絶の流れと日本の立場」, 非核の政府シンポジウム「日本政府の核政策と憲法第9条」, 於: 東京都, 2008年12月13日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 世界法学会 理事
- (2) 核物質管理センター 理事
- (3) 日本国際問題研究所軍縮・不拡散促進センター 客員研究員
- (4) 長崎市平和推進専門会議 委員
- (5) Editorial Board of the Nonproliferation Review, member
- (6) 核戦争防止医師会議大阪府支部 特別顧問

(7) 日本軍縮学会 設立準備委員長

Fujimoto, Donna (フジモト・ドナ) [TESL, Intercultural Education]

Ⅲ. その他の著作 (研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) “Notes for 2008 ICIS (Intercultural Communication Interest Section)” *Newsletter*, 2008年8月, 単著

Ⅳ. 学会発表

- (1) “Conversation Analysis and Classroom Interaction”, TESOL (Teaching English to Speakers of Other Languages), 於: New York, 2008年4月
- (2) “Learning English Across Cultural and Geographic Borders”, TESOL, 於: New York, 2008年4月
- (3) “Diversity and the Contrast Culture Method”, JALT Pan SIG Conference, 於: Kyoto, 2008年5月

Ⅴ. その他の発表 (シンポジウム・講演・放送等)

- (1) “The Nikkei Experience in Japan”, Matsuyama JALT, 於: Matsuyama, 2008年6月

Ⅵ. 学会および公的な機関の委員

- (1) SIETAR (Society for Intercultural Education, Training and Research) Kansai Branch, Program Chair, 2008年1月～12月
- (2) TESOL (Teaching English to Speakers of Other Languages) Intercultural Communication Interest Section, Immediate Past Chair, 2008年1月～12月
- (3) Contrast Culture Method Special Interest Group, Coordinator, 2008年1月～12月

Hansen, Jerrod (ハンセン・ジェレット) [Cultural Anthropology, esp Study abroad and Culture change]

Ⅳ. 学会発表

- (1) “The Resilience of Cultural Selves in Study Abroad Contexts: Why Real Culture Change Doesn't Happen.” NAFSA: Association of International Education. Annual Conference, Washington, D.C., 2008年5月28日

原田 純子 (はらだ・じゅんこ) [舞踊学, 舞踊教育学]

Ⅴ. その他の発表 (シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「公開ダンス・ワークショップ「ダンスで出会う ダンスでつながる パート3」」, 国立民族学博物館, 於: 国立民族学博物館, 2008年3月22日・23日
- (2) 「元気な心を育もう～円滑な親子関係の築き方」, (財) こども教育支援財団・(財) 総合教育研究財団, 於: (財) 総合教育研究財団 人間力開発センター, 2008年11月15日

Ⅵ. 学会および公的な機関の委員

- (1) 近畿私立短期大学連合会・大阪私立短期大学協会 女子総合体育大会総務委員会委員 2008年4月1日～10月22日

井上 文彦 (いのうえ・ふみひこ) [心理学]

Ⅰ. 著訳書

- (1) 「ヒューマニスティック・サイコセラピー ケースブック1」, ナカニシヤ出版, 2008年9月, 共著

Ⅲ. その他の著作 (研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) 「事例研究の意義について」, 『PHP心の電話相談室20年の活動報告』, 2008年5月, 単著

Ⅳ. 学会発表

- (1) 「エンプティ・チェアによる介入ーゲシュタルト療法の理論と実際 (研修会講師)」, 日本心理

臨床学会, 於: 筑波大学, 2008年9月4日

- (2) 「ゲシュタルト療法と援助者としての成長(自主シンポ指定討論者)」, 日本心理臨床学会, 於: 筑波大学, 2008年9月5日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「マイクロ・カウンセリングを取り入れたロールプレイ連続実習」, 関西カウンセリングセンター, 於: 関西カウンセリングセンター, 2008年2月10日・17日
- (2) 「カウンセリング概論」, 関西いのちの電話, 於: 博愛社, 2008年5月15日
- (3) 「グループ・カウンセリング(実習)」, 関西カウンセリングセンター, 天満研修センター, 2008年6月2日
- (4) 「ゲシュタルト療法ワークショップ」, 日本ゲシュタルト療法研究所, 於: 高野山普賢院, 2008年8月1日～8月4日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 関西いのちの電話 理事 2006年10月～

Johnston, Scott (ジョンストン・スコット) [International Education; Intercultural Communication]

III. その他の著作(研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) “Writing Centers in Japan” Osaka Jogakuin Diagaku Kiyou, 4., 2009年5月, 共著

IV. 学会発表

- (1) “Launching a Writing Center in Japan: A Case Study”, JALT 2008 Conference, 於: Tokyo, 2008年11月3日
- (2) “Paper & Clips: An Intercultural Simulation”, SIETAR Japan, Kansai Workshop, 於: Kobe, 2008年9月28日

VII. 科学研究費補助金等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「大学ライティングセンターの構築と運営に関する研究 EFLの視点から」科学研究費補助金, 基盤C一般研究代表者, 2007年4月～2010年3月

香川 孝三(かがわ・こうぞう) [労働法, アジア法]

I. 著訳書

- (1) “2008 Employment Terms and Conditions In Asia/Pacific.” *Watson Wyatt Worldwide, Hong Kong and Singapore*, 2008年3月, 共著
- (2) 『外国人労働者と地域社会の未来—福島大学ブックレット・21世紀の市民講座』, 公人の友社, 2008年10月, (桑原靖夫前独協大学学長, 坂本恵福島大学准教授との共著)

II. 学術論文

- (1) 「コカ・コーラ社とバンチャヤート——インド農村における地方自治拡大のもとにおける紛争事例」, 『科学研究費補助金(基盤研究(A) 発展途上国における地方分権化の制度構築・評価法の総合的研究)・研究成果報告書』, 2008年3月
- (2) 「アジア労働法・労働問題の最新情報」, 『季刊労働法』221号, 2008年6月
- (3) 「ベトナムの戸籍制度からみるジェンダー問題」, 『アジア法研究』2号, 2008年9月
- (4) 「アジアにおけるCSRの現状——労働を中心として」, 『世界の労働』58巻11号, 2008年11月
- (5) 「アジアにおける不安定雇用の実情と課題」, 『IMF・JC』292号, 2008年11月

III. その他の著作(研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) 「フィールド・ノート1—ベトナムの労働力輸出」, 『日本労働研究雑誌』570号, 2008年1月
- (2) 「判例評釈—人事院勧告に準拠しての賃金切り下げの効力——札幌高裁平成19年3月23日判決」, 『ジュリスト』1348号, 2008年1月
- (3) Case Comment, “A v. Sumitomo Nonferrous Metals Co. Ltd., Supreme Court (Third Petty

- Bench) Judgment, 11 April, 2006.” *International Labour Law Reports*, vol. 26, 2008年1月
- (4) 「2007年ベトナム・スタディーツアーをふりかえって」, 『ベトナムで考える—開発・経済・社会』, アジア・ボランティアセンター編, 2008年1月
 - (5) 「フィールド・ノート2—ベトナムのストライキと争議調整」, 『日本労働研究雑誌』 572号, 2008年2・3月
 - (6) 「続・竹の法律問題(1)」, 『竹』 103号, 2008年3月
 - (7) 「フィールド・ノート3—ベトナムの女性労働者」, 『日本労働研究雑誌』 573号, 2008年4月
 - (8) 「巻頭言 アジア特有の労働基準は存在しうるのか」, 『労働法律旬報』 1673号, 2008年6月
 - (9) 「コメント ジョン・ザカラリア「インドと日本の労使関係の比較」西村健一郎「労働契約法案」大内伸哉「非正規労働者の法律問題」」, 『国際産研』 27号, 2008年6月
 - (10) 「続・竹の法律問題(2)」, 『竹』 104号, 2008年6月
 - (11) 「判例評釈—競合する特許事務所等への再就職禁止条項の効力——大阪高裁平成18年10月5日決定」, 『ジュリスト』 1361号, 2008年8月
 - (12) 「アジアのものづくりの現場の変化」, 『IMF・JC』 291号, 2008年8月
 - (13) 「続・竹の法律問題(3)」, 『竹』 105号, 2008年9月
 - (14) 「トヨタ・イン・フィリピン—グローバル時代の国際連帯」, 『労働法律旬報』 1685号, 書評・遠野はるひ・金子文夫著, 2008年12月

IV. 学会発表

- (1) 「政尾藤吉の業績」, アジア法学会, 於：九州大学法学部, 2008年6月
- (2) 「ベトナムにおける労働と格差」, 日本ジェンダー学会, 於：大阪女学院大学
- (3) 「労働CSRと労務管理」, 労務理論学会, 於：明治大学, 2008年11月
- (4) “Japanese Orders and Judgments on Labour Conflicts at Toyota Motor Philippines — Trade Unionism at Joint Company Between Japan and Philippines.” Asian Association of Labour Law, 於：Kuala Lumpur, 2008年11月

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 講演「労働契約法」, IMF・JC労働リーダーシップコース, 2008年1月
- (2) 放送「サッカーボールと児童労働」, 於：FM東京, 2008年1月30日
- (3) 講演「愛媛県が生んだ国際人——政尾藤吉の業績」, 於：愛媛県生涯学習センター, 2008年2月
- (4) 講演“Labour Disputes Settlement in Asia”, 2008 International Seminar on Civil and Commercial Law, 法務省法務総合研究所国際協力部, 2008年2月
- (5) 講演「男女共同参画のあり方」東大阪市管理職研修, 2008年2月
- (6) 報告“Japanese ODA Policy in Asia” 2008 Gwangju International Peace Forum; Forum on Asia Regional Solidarity, Gwangju, 於：South Korea, 2008年5月
- (7) 報告「判例評釈 A特許事務所事件、大阪高裁平成18年10月5日決定」東京大学労働判例研究会, 2008年6月
- (8) 講演「アジア移行経済化の国々の労使関係」同志社大学社会学部産業関係学科, 2008年6月
- (9) 報告「日本企業とアジアの労働CSR」関西国際産業関係研究所, 2008年7月
- (10) 講演「労働CSRの世界的潮流と日本」オムロン労働組合, 2008年9月
- (11) 報告「労働CSRの世界的潮流」大阪女学院大学国際共生研究所研究会, 2008年9月
- (12) 報告“Collective Bargaining in Japan” International Comparison of Collective Bargaining Systems and Cultures, Vietnam General Confederation of Labour and Friedrich Ebert Stiftung, Hanoi Office, 於：Hanoi, Vietnam, 2008年9月
- (13) 報告「東アジアの女性と文化」京都文化創生実行委員会主催・文化庁支援・「若者と学ぶ源氏物語シンポジウム」, 2008年10月

(14) 講演「労働CSRと日本」関西経営者協会, 2008年10月

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 社団法人日本労使関係研究協会常務理事
- (2) 日本ジェンダー学会副代表
- (3) 日本労務学会理事・学会誌編集委員
- (4) アジア法学会理事
- (5) 兵庫県労働運動史編集委員会委員長
- (6) IMF・JC労働リーダーシップコース副校長・運営委員
- (7) NPO法人・アジアボランティアセンター副代表・理事
- (8) 京都生涯教育研究所理事
- (9) 社団法人関西国際産業関係研究所理事
- (10) 国際京都学協会常務理事・事務局長
- (11) 竹文化振興協会理事
- (12) 宝ホールディングス株式会社監査役
- (13) 宝酒造株式会社監査役
- (14) Asian Association of Labour Law, Member of Executive Council

VII. 科学研究費補助金等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「アセアン諸国における中小企業のグローバル化対応促進型制度構築の学際研究」, 科研費基盤研究(B) 研究分担者(代表・金子由芳神戸大学教授), 平成19-21年度
- (2) 「子どもの安全保障の国際学的研究—子どもの日常性回復をめざして」, 科研費基盤研究(B) 研究分担者(代表・初瀬龍平京都女子大学教授), 平成19-21年度
- (3) 「アジア市場経済化諸国向け法整備支援の実証的研究」, 科研費基盤研究(B) 研究分担者(代表・松永宣明神戸大学教授), 平成18-20年度
- (4) 「東アジア諸国における労働法整備支援と労働契約法制の展開」, 科研費基盤研究(B) 研究分担者(代表・藤川久昭青山学院大学教授), 平成20-22年度
- (5) 「中小企業のグローバル化と労働条件・職場環境」財団法人日本中小企業福祉事業財団 研究分担者(代表・花見忠上智大学名誉教授、弁護士), 平成17-21年度
- (6) 「労働CSRと専門家の役割——東・東南アジア諸国の地域協力をめざして」, 全国社会保険労務士会連合会, 平成20-21年度

垣本 充(かきもと・みつる)〔予防医学, 食物学, 環境科学〕

III. その他の著作(研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) 「宗教・嗜好別に見た食文化・食習慣「ベジタリアン」」, 『国土交通省総合政策局「多様な食文化・食習慣を有する外国人客への対応マニュアル」』, 2008年2月, 共著
- (2) 「IVU世界会議100年を記念して「故多田政一博士顕彰」」, 『生活医学ジャーナル』No.596, 2008年10月, 単著

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「中国の菜食事情」, 日本ベジタリアン学会・日本ベジタリアン協会「東京フォーラム」, 於: 東京衛生病院, 2008年8月31日
- (2) 「IVU(国際ベジタリアン連合)の活動」, 国土交通省・政府観光局・日本ベジタリアン協会「東京国際菜食文化フェア」, 於: 代々木公園, 2008年10月18日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本ベジタリアン学会 理事長
- (2) NPO法人・日本ベジタリアン協会 代表理事
- (3) International Vegetarian Union,U.K., Patron

- (4) Vegetarian Research, Honorary Editor
- (5) Journal of Environmental Information Science, Reviewing Committee
- (6) (社) 環境情報科学センター 環境情報科学査読委員
- (7) ベジタリアン・ジャーナル 編集長

加藤 映子 (かとう・えいこ) [言語習得]

I. 著訳書

- (1) 「子どもと作る絵本ーだんじりにのって」, 光源寺幼稚園, 2008年11月, 単著
- (2) 「子どもと作る絵本ーうちゅうからのおともだち」, 光源寺幼稚園, 2008年11月, 単著
- (3) 「子どもと作る絵本ーみんなでキャンプ」, 住吉幼稚園, 2008年11月, 単著

III. その他の著作 (研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) 「学習サポート：チュータリングの実践状況の考察」, 『大阪女学院大学紀要』, 2008年3月, 共著
- (2) 「CMS利用による科目間協同学習の取組ー情報教育と英語教育の融合ー」, 『大阪女学院大学紀要』, 2008年3月, 共著
- (3) 「絵本だより 第1号」, 『大阪市子ども青少年局』, 2008年9月, 共著
- (4) 「絵本だより 第2号」, 『大阪市子ども青少年局』, 2008年11月, 共著
- (5) 「絵本だより 第3号」, 『大阪市子ども青少年局』, 2008年11月, 共著
- (6) 「絵本ダイアリー」, 『大阪市子ども青少年局』, 2008年9月, 共著

V. その他の発表 (シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「子どものことばを育てる読み聞かせ」教諭対象 ワークショップ1, 大阪市子ども青少年局, 於：光源寺幼稚園, 2008年10月15日
- (2) 「子どものことばを育てる読み聞かせ」保護者対象 ワークショップ, 大阪市子ども青少年局, 於：光源寺幼稚園, 2008年10月27日
- (3) 「子どものことばを育てる読み聞かせ」教諭対象 ワークショップ1, 大阪市子ども青少年局, 於：住吉幼稚園, 2008年10月16日
- (4) 「子どものことばを育てる読み聞かせ」保護者対象 ワークショップ, 大阪市子ども青少年局, 於：住吉幼稚園, 2008年11月13日
- (5) 「子どものことばを育てる読み聞かせ Before & After」教諭対象 ワークショップ2, 大阪市子ども青少年局, 於：光源寺幼稚園, 2008年11月26日
- (6) 「子どものことばを育てる読み聞かせ Before & After」教諭対象 ワークショップ2, 大阪市子ども青少年局, 於：住吉幼稚園, 2008年12月1日
- (7) 「iPodを利用した英語教育の実践」学術講演, 武庫川女子大学情報教育センター, 於：武庫川女子大, 2008年12月19日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 言語科学会 運営委員・会計監査 2008年6月～2009年5月
- (2) 大阪市就学前児童健全育成プログラム策定に向けたフィールドワーク絵本 講師 2008年9月1日～12月31日

小松 泰信 (こまつ・やすのぶ) [図書館情報学]

II. 学術論文

- (1) 「情報リテラシー科目のeラーニング化に伴う学修支援対制」, 『現代の図書館』, 2008年3月, 単著

III. その他の著作 (研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) 「Weblog利用による科目間協同学習の取組ー情報教育と英語教育の融合ー」, 『大阪女学院大

学紀要』4号, 2008年3月1日, 共著

馬淵 仁(まぶち・ひとし) [教育社会学, カルチュラル・スタディーズ]

I. 著訳書

(1) 「異文化間教育学の研究」, ナカニシヤ出版, 12月20日, 共著

III. その他の著作(研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

(1) 「トランスナショナル・アイデンティティと多文化共生 グローバル化時代の日系人」, 『インターカルチュラル』, 村井忠政編著 書評, 2008年6月, 単著

IV. 学会発表

(1) 「多文化社会を目指して—異文化間教育の使命」, 異文化間教育学会(特定課題研究/コーディネーター), 於: 京都外国語大学, 6月1日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

(1) 「多文化社会を目指して—異文化間教育の使命」, 異文化間教育学会(公開研究会/コーディネーター), 於: 関西学院大学大阪梅田キャンパス, 3月22日

(1) 「多文化共生は可能か?—移民社会と異文化間教育」, 異文化間教育学会(公開研究会/コーディネーター), 於: お茶の水女子大学, 12月7日

VI. 学会および公的な機関の委員

(1) 異文化間教育学会研究委員長・常任理事

(2) 日本国際文化学会常任理事・紀要編集委員 7月12日～

(3) オセアニア教育学会紀要編集委員紀要編集委員

前田 美子(まえだ・みつこ) [比較・国際教育学, 開発教育]

I. 著訳書

(1) “Power relations in development cooperation: patterns, concepts and approaches in a Japanese-assisted education project.” VDM Verlag Dr. Müller: Saarbrücken, Germany (200 pages), ISBN: 978-3639084504, 2008年11月, 単著

II. 学術論文

(1) “Problems of distance education materials from perspectives of Japanese learners.” *International Journal of Instructional Technology and Distance Education Learning*, Vol. 4 No.11, pp.13-22., 2007年11月, 単著

(2) “Education and cultural hybridity: what cultural values should be imparted to students in Kenya?” *Compare: A Journal of Comparative Education, electronic edition DOI: 10.1080/03057920802351713* (14 pages), 2008年9月, 単著

III. その他の著作(研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

(1) “Ph.D Thesis Abstract “Power relations among actors in development cooperation: Patterns, concepts and approaches in a Japanese-assisted teacher training project in Cambodia.”” *International Journal of Educational Development*, Vol. 28 Issue 3, pp. 359-360, 2008年1月, 単著

(2) 「To give or not to give? Monetary incentive for counterpart personnel in a capacity development project」, 『平成19年度 ケース・ライティング・ワークショップ作成ケース集』国際開発高等教育機構・国際基督教大学21世紀COEプログラム発行, pp. 61-76, pp. 111-116., 2008年3月, 単著

(3) 「開発途上国の理科教育」, 『サイエンス・ウインズ』No.4 Nov, p.3, 2008年11月, 単著

IV. 学会発表

(1) “Motives of development actors in educational projects.”, The 3rd Forum for Worldwide

Comparative Education, 於：Beijing Normal University, China, 2008年10月13日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 講演「夢に向かって」, 大阪府西淡路小学校総合学習支援, 於：大阪府西淡路小学校, 2008年3月4日
- (2) 「日本の子どものアフリカ観」, 大阪女学院大学・学内研究会, 於：大阪女学院大学, 2008年3月14日
- (3) ゲストティーチャー「途上国の教育開発と日本の教育協力」, 兵庫教育大学修士課程・海外協力プログラム, 於：兵庫教育大学, 2008年10月4日
- (4) 講演「開発途上国の理科教育」, 関西学院大学理工学部同窓会, 於：ホテル竹園芦屋, 2008年11月29日

McCarty, Steve (マッカーティ・スティーブ) [バイリンガリズム, オンライン教育, 日本学, アジア学]

I. 著訳書

- (1) “Social Networking Behind Student Lines in Japan”, *Handbook of Research on Web 2.0 and Second Language Learning*, pp. 181-201, IGI Global (米国), 2008年11月, 単著

II. 学術論文

- (1) “Internationalizing the Essence of Haiku Poetry.”, *Taj Mahal Review: An International Literary Journal* (インド), 2008年12月, 単著
- (2) “Motivating Language Learners from Before Admission to After Graduation.”, *CLaSIC 2008 Proceedings* (シンガポール国立大学), 2008年12月, 単著
- (3) “Research on English Performances and Motivation at Osaka Jogakuin College.”, *Child Research Net: Research Papers* (東京), 2008年11月, 単著
- (4) “Social Networking Behind Student Lines with Mixi.”, *Proceedings of the Second International Wireless Ready Symposium* (英国 IATEFL & 名古屋商科大学大学院), 2008年9月, 単著
- (5) “The Bilingual Perspective versus the Street Lamp Syndrome.”, *IATEFL Voices* (英国), 2008年7月, 単著

III. その他の著作(研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) 「インターネットでできる英語体験」, 『Worldwide Kids English Parents' Website』, 2008年11月, 単著
- (2) 「英語が好きになったー平成20年度大阪中学生サマー・セミナー」, 『Wilmina Voices』, 2008年10月, 共著
- (3) 「This is Osaka」, 『大学@OSAKA 教職員のコラム(大学コンソーシアム大阪)』, 2008年6月, 単著
- (4) 「英語を子ども自身の第二言語にする方法」, 『Worldwide Kids English Parents' Website』, 2008年5月, 単著
- (5) “Previewing the future of Web 2.0 in 3D for language teaching.” *The Language Teacher*, 2008年4月, 単著
- (6) “Good Group Discussions” *English News Letter*, 2008年2月, 単著

IV. 学会発表

- (1) “Motivating Language Learners from Before Admission to After Graduation with Social Media.”, National University of Singapore, Centre for Language Studies, CLaSIC 2008 International Conference: Media in Foreign Language Teaching and Learning, 於：シンガポール国立大学, 2008年12月4日
- (2) “Curtain CALL: Online Performances for Integrative Motivation.”, JALT CALL SIG, 於：名古屋商科大学, 2008年6月1日

- (3) “Making Mobile Phone Websites.”, JALT CALL SIG, 於：名古屋商科大学, 2008年5月31日
- (4) “Social Networking behind student lines with Mixi.”, International Association of Teachers of English as a Foreign Language (IATEFL) Learning Technologies SIG, 於：名古屋商科大学大学院, 2008年3月29日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) “Japanese People and Society.”, 国際協力機構 JICA, 於：JICA 大阪, 2008年9月10日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) World Association for Online Education, 名誉会長(1998-2007：会長) 2007-現在に至る
- (2) Asia-Pacific Association for Computer-Assisted Language Learning, 広報委員 2007-現在に至る
- (3) ベネッセ コーポレーション 東京本社 Worldwide Kids English, メーン監修 2006-現在に至る
- (4) チャイルド・リサーチ・ネット(東京), Advisory Board(顧問) 2001-現在に至る

元 百合子(もと・ゆりこ) [国際人権法・国際関係学]

I. 著訳書

- (1) 「ディアスポラと社会変容—アジア系・アフリカ系移住者と多文化共生の課題」, 国際書院, 2008年3月20日, 共著
- (2) 「宗教と人権——国際法の視点から」, 東信堂, 2008年4月20日, 単著(訳書)

II. 学術論文

- (1) 「ベトナム戦争における米国の戦争犯罪—今も続く枯葉剤撒布の被害と不問にされた国家責任」, 『INTERJURIST』第159号, 日本国際法律家協会, 2008年3月, 単著
- (2) 「民族的・言語的マイノリティに属す子どもたちの学習権の確保」, 『国際人権』19号, 国際人権法学会, 2008年10月, 単著

III. その他の著作(研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) 「不可視化されてきた人権侵害：マイノリティ女性に対する複合差別」, 『週刊金曜日』701号(憲法特集号), 2008年5月, 単著
- (2) 「アジア農漁村女性会議：インドに7000人の女性が集結」, 『週刊金曜日』708号, 2008年6月, 単著
- (3) 「セミナー報告：複合差別の実態と理論」, 『IMADR-JC通信』154号, 2008年6月, 単著
- (4) 「世界の大学院における人権教育・研究の動向」, (単一の報告書), 国際人権大学院大学の実現をめざす大阪府民会議発行, 2008年6月, 共著
- (5) 「外国籍の子どもたちの学習権」, 『ヒューマンライツ』247号, 2008年10月, 単著

IV. 学会発表

- (1) 「大学の教育課題として重要なアイヌ民族の権利」, 全国大学同和教育研究協議会, 於：大阪府福祉人権推進センター, 2008年6月8日
- (2) 「宗教と人権：日本と東アジアとの関連」, 東北アジア平和構想研究会, 於：関西学院大学, 2008年7月26日
- (3) 「宗教と人権：国際人権法の観点から」, 大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター, 於：大阪経済法科大学(東京麻布台セミナーハウス), 2008年11月8日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「移住労働者の安全保障と人権」, 大阪経済法科大学アジア研究所および北京大学東アジア研究センター共催、第五回東アジア学国際学術シンポジウム, 於：大阪国際交流センター, 2008年9月22日
- (2) 「宗教と人権：国際人権法の観点から」, 大阪女学院大学、学内研究会, 於：大阪女学院大学,

2008年11月18日

Ⅵ. 学会および公的な機関の委員

- (1) 大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター客員研究員運営委員
- (2) 反差別国際運動日本委員会企画運営委員

Ⅶ. 科学研究費補助金等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) マイノリティ女性に関する政策と制度の比較研究:複合差別の視点から, 150万円(研究代表者), 2008~2010年
- (2) アジア・太平洋地域の大学院「人権プログラム」の学際的調査・研究, 330万円(グループ研究), 2008~2010年

長井 茂(ながい・しげる) [Comparative Financial Analysis, International Accounting Standard]

Ⅲ. その他の著作(研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) 「Weblog利用による科目間協同学習の取組—情報教育と英語教育の融合—」, 『大阪女学院大学紀要』4号, 2008年3月1日, 共著

中井 弘一(なかい・ひろかず) [英語教育・教授法]

Ⅲ. その他の著作(研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) 「学習サポート:チュータリングの実践状況の考察」, 『大阪女学院大学紀要』4号, 2008年3月1日, 共著
- (2) 「Weblog利用による科目間協同学習の取組—情報教育と英語教育の融合—」, 『大阪女学院大学紀要』4号, 2008年3月1日, 共著

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「明日からの授業実践—英語授業の哲学—」, 大阪府立芥川高等学校教員研修, 於:芥川高等学校, 2008年1月24日
- (2) 「論理的な考え方・話し方」, 大阪市教育委員会, 於:大阪市教育センター, 2008年7月28・29, 8月12日
- (3) 「ディベート…日本は成人年齢を18歳まで下げるべきである」, 全国高校英語ディベート連盟, 於:岐阜聖徳学園大学, 2008年12月20・21日

Ⅵ. 学会および公的な機関の委員

- (1) 文部科学省SELHi企画運営協力委員会 協力委員 2006~
- (2) 大阪府立寝屋川高等学校SELHi運営指導委員会 運営指導委員 2006~

奥本 京子(おくもと・きょうこ) [英文学・平和学]

I. 著訳書

- (1) 『平和の探求:暴力のない世界をめざして』, (社) 部落解放・人権研究所, 2008年3月20日, 共著
- (2) 『人権学習シリーズVol.5 ぶつかる力 ひきあう力:対立と解決』, 大阪府政策企画部人権室, 2008年3月, 共著
- (3) 『非武装のPKO—NGO非暴力平和隊の理念と活動』, 明石書店, 2008年4月25日, 共著

Ⅱ. 学術論文

- (1) 「加害と被害の枠組みをどう乗り越えるか—東アジアの和解と平和創造のために—」, 『トランセンド研究』, 2008年6月, 共著

Ⅲ. その他の著作(研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) 「『済州4・3事件60周年記念シンポジウム「記憶を超えて和解へ」』参加報告」, 『トランセンド研究』, 2008年6月, 共著

- (2) 「大阪YWCAにおけるトランセンド・ワークショップ・シリーズ報告」, 『トランセンド研究』, 2008年12月, 共著
- (3) 「ファシリテーターになる準備のための大学生対象ワークショップ報告」, 『トランセンド研究』, 2008年12月, 単著
- (4) 「2008年6月トランセンド国際理事会報告」, 『トランセンド研究』, 2008年12月, 単著
- (5) “Ho’o Pono Pono: Reconciliation Process in North East Asia.” *Exploring Asian Approaches to Peace Building-Practical Insights and Reflections*, ACTION Asia, 2008年2月, 単著
- (6) 「思考停止をやめる！—紛争転換と非暴力で平和を創ろう—」, 『RCC Newsletter』, 2008年1月, 単著
- (7) 「巻頭言「韓国NPの活動に学ぶ:NPJ/NPC第3回交流会議」」, 『非暴力平和隊・日本(NPJ) ニュースレター』, 2008年4月, 単著

IV. 学会発表

- (1) 「加害と被害の枠組みをどう乗り越えるか—東アジアの和解と平和創造のために—」, Jeju 4.3 Research Institute (International Conference commemorating the 60th anniversary of Jeju April Third Uprising—Reconciliation beyond Memory—), 於：韓国済州島, 済州オリエンタルホテル, 2008年4月5日, 共同発表
- (2) “What Transcend-Japan and Transcend-North East Asia Have Done So Far, and What We Will Try to Achieve in the Coming Five Years.” Transcend-International Network (Transcend-International Board of Conveners Conference), 於：Trondheim, Norway, Radisson SAS Trondheim Hotel, 2008年6月8日
- (3) 「平和構築のための紛争転換・非暴力介入, そして芸術の役割」, 東北アジア平和構想研究会, 於：関西学院大学大阪梅田キャンパス, アプローズタワー, 2008年6月28日
- (4) “Conflict Transformation in North East Asia and the Meaning of “Apology”: Examples from Theatre Experiments.” ACTION Asia (The Second ACTION Asia Peacebuilders’ Forum), 於：ネパール・カトマンズ, The Hotel View Bhrikuti, 2008年10月21日
- (5) “Roles of Citizens of Japan to Create a Peaceful Community/Society in North-East Asia.” the Korean Association of Saemaul Undong Studies (KASUS) (the International Conference on New Community Movement (Saemaul Undong) in the Globalizing World: Origin, Present and Future Prospect), 於：韓国, ソウル, ソウル国立大学, コンベンションセンター, 2008年11月10日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「『平和学』ワークショップ」, 大阪国際滝井高等学校, 於：大阪国際滝井高等学校, 2008年2月16日
- (2) 「紛争『転換』の方法—国際交流インストラクター流平和ワーカー養成講座—」, 新潟国際情報大学 2008年度 国際交流インストラクター事業, 於：JICA地球ひろば, 2008年8月21日
- (3) 「紛争転換の方法—平和ワーカー養成講座—」, セカンドハンド+JICA, 於：セカンドハンド本部ビル4階, 2008年10月1日
- (4) 「日本画家、千住博と、映画監督、イ・チャンドン、基調講演に続く対談のモデレーター」, 第6回国際平和博物館会議, 於：京都造形芸術大学, , 2008年10月9日
- (5) 「これ以上アフガニスタンを忘れないために—伊藤さん殺害事件を受けて—」, これ以上アフガニスタンを忘れないための集い実行委員会, 於：ドーンセンター大会議室, 2008年10月11日
- (6) 「中央区九条の会3周年記念講演会「音楽と講演の夕べ 平和のつくり方」」, 大阪・中央区九条の会, 於：社会福祉指導センター5階ホール, 2008年11月7日
- (7) 「もめごとをチャンスに！！—「対立」を解決しよりゆたかな関係を築くための講座—さま

ざまな立場 みんな当事者：いじめをめぐる関係性を手がかりに」, 財団法人大阪府人権協会
人権啓発部, 於：大阪人権センター 研修室など, 2008年11月15日

- (8) 「2008年度「JICA-NGO連携による実践的参加型地域開発コース」紛争転換ワークショップ」,
アジアボランティアセンター+JICA大阪国際センター, 於：JICA大阪国際センター, セミ
ナールーム14, 2008年12月10日
- (9) 「第5回東アジア学国際学術シンポジウム『21世紀の東アジア—平和・安定・共生—』」, 大阪
経済法科大学アジア研究所/北京大学東亜学研究センター, 於：大阪国際交流センター,
2008年9月22日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本平和学会 第18期企画委員会委員 2008年
- (2) 国際トランセンド・ネットワーク 公認トレーナー 2008年
- (3) 国際トランセンド・ネットワーク 地域(東北アジア)コンビーナー 2008年
- (4) トランセンド研究会 編集委員長 2008年
- (5) 非暴力平和隊・日本 理事 2008年
- (6) 日本平和学会 平和と芸術分科会責任者 2008年
- (7) 財団法人大阪国際平和センター(ピースおおさか) 企画運営委員(展示専門部会) 2008年
- (8) 財団法人大阪国際平和センター(ピースおおさか) 運営協力懇談会委員 2008年

関根 聡(せきね・あきら) [社会学・家族社会学・福祉社会学・ジェンダー論]

II. 学術論文

- (1) 「高齢者介護をめぐる家族危機」, 『大阪女学院短期大学紀要』37号, 2008年3月, 単著
- (2) 「女性大学生における性役割意識に関する比較」, 『近畿大学人権問題研究所紀要』22号,
2008年3月, 単著
- (3) 「児童虐待をめぐる支援システムの再構築」, 『吉備国際大学大学院社会学研究科論叢』9号,
2008年3月, 単著

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「要介護高齢者と家族の関係」, 大阪女学院大学・短期大学 学内研究会, 於：大阪女学院大学,
2008年3月14日
- (2) 「「ジェンダー」という棲みわけシステム」, 近畿大学, 於：近畿大学 生物理工学部, 2008年6
月2日
- (3) 「女性が長生きするときに一女性問題としての高齢化を考える」, 茨木市 健康福祉部高齢
福祉課, 於：茨木市立生涯学習センターきらめき, 2008年10月12日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 東大阪市社会福祉協議会：福祉と人権 推進委員会 オブザーバー 2005年11月～
- (2) 高槻市男女共同参画審議会 委員 2006年10月～2008年10月
- (3) 高槻市男女共同参画センター：男性セミナー企画運営委員会 委員長 2008年4月～2009年3
月
- (4) 学校法人池田五月山教会学園 評議員 2008年4月～2012年3月

関根 秀和(せきね・ひでかず) [高等教育論, 社会学]

III. その他の著作(研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) 「短期「大学」としての大学文化の形成を支援する」, 『カレッジマネジメント』150号,
pp.20-23, 2008年5月～6月
- (2) 「短期大学の認証評価-自己組織性の形成を支援する」, 『IDE現代の高等教育』504号,
pp.59-62, 2008年10月号

- (3) 「学士課程教育の構築に向けて(審議のまとめ)に関する意見提出」中央教育審議会大学分科会制度・教育部会, 2008年5月10日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「「認証評価」の動向と短期大学基準協会の評価について」, (財)短期大学基準協会平成20年度第三者評価評価員研修会, 於: ホテルベルクラシック, 2008年7月10日
- (2) 「高等教育をめぐる動向と短期大学の自律について」, 日本私立短期大学協会教務担当者研修会, 於: 大阪ガーデンパレスホテル, 2008年10月22日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 大学教育学会常任理事
- (2) 近畿都市学会評議員
- (3) キリスト教文化学会理事
- (4) 大学設置・学校法人審議会運営委員会委員・大学設置分科会特別委員
- (5) 大学評価・学位授与機構評議員・短期大学評価委員会委員
- (6) 国立大学法人評価委員会専門委員
- (7) 私立大学等経費補助金特別補助検討委員会委員
- (8) 日本学生支援機構新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム実施委員会委員
- (9) 私学研修福祉会私立大学の教育・研究に関する研究会運営委員会委員
- (10) 短期大学基準協会副理事長・第三者評価委員会委員長
- (11) 日本私立短期大学協会副会長
- (12) 大阪私立短期大学協会会長
- (13) 大阪府男女共同参画推進財団理事
- (14) 全私学連合代表者会議員
- (15) 大阪府私学総連合会常任理事

田中 義信(たなか・よしのぶ) [国際協力, 開発教育]

III. その他の著作(研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

「「意味」空間へ」, 『アジアの風』, 2008年9月10日, 単著

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「海外体験学習とは何か」(基調講演), 大学における海外体験学習研究会, 於: 神戸親和大学, 2008年9月23日
- (2) 「短期大学における教養教育のあり方」, 私学研修福祉会, 於: 私学会館, 2008年11月7日
- (3) 「海外体験学習で創る未来—スタディツアーによる人材育成—」, ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会, 於: 大阪国際交流センター, 2008年12月20日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本ボランティア学会 監事 2008年6月~2009年5月
- (2) 財団法人たんぽぽの家 法人理事 2008年6月~2009年5月
- (3) 国際教育フォーラム 共同代表 2008年5月~2009年4月

Teaman, Brian(ティーマン・ブライアン) [Phonetics, Computer Assisted Language Learning, Speaking English as a Second Language, Machine-Aided Spoken Language Evaluation]

IV. 学会発表

- (1) “Human vs. machine rating of second language English.” Japan Association for Language Teaching, Computer Assisted Language Learning, 於: Nagoya, 2008年5月
- (1) “From language learners to language researchers.” Japan Association for Language Teaching, 於: Tokyo, 2008年11月2日

Verity, Deryn (ベリテイ・デリン) [English, ELT]

II. 学術論文

- (1) "Orienting Learners: An Imagined Conversation." *Learning Learning (online) Newsletter of Learner Development SIG, JALT*, 2008年4月, 単著

III. その他の著作 (研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) "Eric Johnston: Foreign Journalist Tells All." *Newsletter of SWET (Society of Writers, Editors and Translators)*, 2008年9月, 単著

IV. 学会発表

- (1) "Understanding the Vygotskyan concept of scaffolding, through application and experience." Scaffolding: Looking through Learners' Eyes (invited speaker) JALT Learner Development Forum, 於: JALT National Conference, Tokyo, Japan, 2008年11月1日
- (2) "Practical workshop for creative grammar teaching techniques." Teaching Grammar Creatively, 於: International University of Japan, Teacher Development workshops, 2008年11月21日
- (3) "Using reflection to heighten understanding of second language acquisition." Reflection as a Classroom Tool, 於: Association for Language Awareness, Hong Kong University, Hong Kong, 2008年4月

V. その他の発表 (シンポジウム・講演・放送等)

- (1) "Providing peer support to presenters who are preparing their papers for publication in the JALT Conference Proceedings." Writer Peer Support Workshop: How to Prepare a Presentation for Publication (Osaka chapter, JALT), 於: Osaka, Japan, 2008年11月23日
- (2) "Lecture and workshop activities to heighten understanding and applications of Vygotskyan concepts for teachers." Applying Vygotskyan Concepts in the Classroom (Sendai JALT chapter), Invited speaker, 於: Sendai, Japan, 2008年5月
- (3) "Practical workshop on how to get published professionally in JALT and other publications." Getting Published (with S. Cornwell) (Osaka chapter JALT), 於: Osaka, Japan, 2008年2月

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) Japan Association for Language Teaching, Editorial Board member, reader, reviewer, all year 2008

山田 一美 (やまだ・かずみ) [第二言語習得, 外国語教育, 統語論]

II. 学術論文

- (1) "English Natives' Interpretation of Pronominals in Japanese: Evidence from a Pilot Study." 『大阪女学院短期大学紀要』37号 (2007), 2008年3月, 単著

V. その他の発表 (シンポジウム・講演・放送等)

- (1) "Paragraph Structure and Reading Skills." 高大連携: 大学模擬授業, 於: 宝塚北高等学校, 2008年10月

VI. 学会および公的な機関の委員

日本第二言語習得学会 会計監査委員 2008年~2009年

米田 信子 (よねだ・のぶこ) [言語学]

I. 著訳書

- (1) 『アクション別フィールドワーク入門』 武田丈・亀井伸孝 (編), 京都: 世界思想社, 2008年3月, 共著 (第7章「多言語社会のゆくえをのぞむ」を担当)

II. 学術論文

- (1) 「マテング語の情報構造と語順」, 『言語研究』 133号, pp.107-132, 2008年3月, 単著
- (2) 「ナミビアのアフリカ諸語—言語態度と言語権を中心に—」, 『南部アフリカ少数言語の教材開発および保護のための記述研究』 (平成18年度～19年度科学研究費補助金研究成果報告書) 米田信子 (編), pp.1-16, 2008年6月, 単著

III. その他の著作 (研究ノート・ニュースレター・報告書・雑誌・新聞等)

- (1) 「母語は『使いたい言語』か?—ナミビアの言語権」, 『言語』 32-2, 東京:大修館書店, pp.40-45, 2008年1月, 単著

IV. 学会発表

- (1) “Word Order and Information Structure in Matengo (N13).” International Conference on Movement and Word Order, 於: Leiden大学, オランダ, 2008年3月8日
- (2) 「ヘレロ語名詞の声調」, 日本アフリカ学会第45回学術大会, 於: 龍谷大学, 2008年5月25日
- (3) 「アフリカ諸語による教育と言語権—母語教育のゆくえをのぞむ—」, 日本文化人類学会第42回研究大会, 於: 京都大学, 2008年6月1日
- (4) “Information Structure and Sentence Formation in Matengo.” The 18th International Congress of Linguists, 於: 高麗大学, 韓国, 2008年7月25日

V. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本アフリカ学会 学会誌『アフリカ研究』編集委員 2008.6.～

VI. 科学研究費補助金等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「自律調和的視点から見た音韻類型のモデル」, 科学研究費補助金 基盤研究(A) 20242010 研究分担者, 平成20年度～平成23年度

※米田信子氏は、2008年9月30日付退職のため、2008年1月1日～9月30日までの活動報告を記す。